

高齢者向けホームのご入居者様の作品を展示する「ベネッセスタイルケアの紡ぐ美術展」 アートフォーラムあざみ野で 2025年2月28日（金）から3月3日（月）まで開催 保育園児との共同制作作品の展示やご入居者様が参加する“対話型鑑賞”も実施

株式会社ベネッセスタイルケア（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：滝山 真也）は、ベネッセの高齢者向けホームのご入居者様のアート作品を展示する「ベネッセスタイルケアの紡ぐ美術展（以下紡ぐ美術展）」を、アートフォーラムあざみ野（横浜市青葉区）にて開催いたします。紡ぐ美術展は、ご入居者様がご自身の想いを形にするハレの場として、2023年度に初開催しました。前回開催時には、2日間で400名を超える方がお越しください、次回の開催を心待ちにする声をいただきました。そこで2回目となる今回も、**2025年2月28日（金）から3月3日（月）の全日程を一般の方にも広く公開**いたします。また今回はあらたな取り組みとして、アートを介した世代間交流をテーマに、ベネッセの保育園に通うお子様との**共同作品制作**にも取り組みました。そして、Benesse Art Site Naoshima／ベネッセアートサイト直島（BASN）の協力のもと、平素より弊社ホームにてご入居者様に参加いただいている「**BASN 対話型鑑賞**」を、**会場**で実施いたします。対話型鑑賞は対話を通じて作品を鑑賞する手法です。参加しているその方の心のありかを介護職員が知ることによって、QOL 向上のためのサービス提供にもつながっています。ぜひ会場で、ご入居者様の作品や対話型鑑賞に触れていただき、心温まる時間をお楽しみください。

■「ベネッセスタイルケアの紡ぐ美術展」開催内容

- ・日程：2025年2月28日（金）～3月3日（月）
- ・時間：各日 10:00～17:00（入場は16:30まで）
※ 2月28日（金）のみ 13:00 開始
※ 3月3日（月）は 12:00 まで（入場は 11:30 まで）
- ・場所：アートフォーラムあざみ野 ※入場無料、ご予約不要
（神奈川県横浜市青葉区あざみ野南 1-17-3）

＜展示作品／対話型鑑賞について＞

● 展示作品

- ・ 個人作品：美術展への出展を目指し制作された作品だけでなく、ご入居前の作品も含めて約 80 点を展示します。
- ・ 合同作品：川崎市・横浜市・町田市の 30 ホームがそれぞれのエリアにて、ご入居者様による共同作品制作に取り組みました。また、ベネッセの保育園のお子様と取り組んだ、「虹」がテーマの共同作品もみどころの一つです。

● 対話型鑑賞

ベネッセアートサイト直島で実施している「BASN 対話型鑑賞」では、アート作品をファシリテーターや他の方とともにグループで見て考え、感じたこと、発見したことなどを言葉にして共有する中で、自分自身の価値観に気が付いたり、他の方への理解へとつながる鑑賞体験を提供しています。

今回の美術展では、事前にご希望いただいた弊社ホームのご入居者様と、ベネッセグループ社員のファシリテーターによって実施します。会場で鑑賞するご入居者様の様子をご覧になることで、その方の心に起きている現象を追体験していただくこともできるのではないのでしょうか。

※2月28日～3月2日 各日 14:00～15:00 頃での開催を予定しておりますが、当日の状況によって変更になる可能性があります。ご了承ください。



■「ベネッセスタイルケアの紡ぐ美術展」2024 年度の取り組み

ご自身の想いを形にする楽しさや喜び、皆で一つのものを創り上げる達成感、ご入居者様にそんなこの想いを感じていただきたいと考え、2023 年度に川崎・横浜・町田エリアを中心とした 30 ホームで初開催したのが、「ベネッセスタイルケアの紡ぐ美術展」です。アートを紹介して、その方の人生、歴史、想いに触れることを大切に、その方のさらなる QOL 向上につながるサービスを提供し続けていきたい、と考えています。

● 個人作品



ご入居者様がホームに入居された後に取り組みされた作品のみならず、過去の作品を含めて展示。たとえ、どの時代に制作された作品であっても、制作・展示を通して一つひとつの作品が輝き、あらためてご入居者様が自信を持つことにつながったり、その方の可能性や意欲がさらに高まったりすることを目指しています。絵画や陶芸、写真や書道など、約 80 点もの作品を展示いたします。

(左写真：2024 年度の展示作品とご入居者様)

● 合同作品



川崎市・横浜市・町田市の 30 ホームがそれぞれのエリアにて、ご入居者様による共同作品制作に取り組みました。作品は、ラスコーの洞窟壁画をイメージした彩り豊かな手形アートや、お花紙を数ミリ単位に丸めて作ったモザイクアート、ご入居者様が毎日読んでいる新聞広告を同じ色合いに仕分けし作ったちぎり絵アートなどさまざまです。

(左写真：お花紙を使ったモザイクアート制作に取り組むご入居者様)

● ベネッセの保育園との共同制作



2024 年度はアートを紹介して世代を超えた交流につながる取り組みを行ってきました。ベネッセの保育園 9 園と連携して取り組んだ共同作品は、「虹」をテーマに折り紙や手形を用いて自由にデコレーションを行ないました。お子様とご入居者様それぞれの個性が溢れた色鮮やかで立体的なこの作品は、会場でのフォトスポットとなる予定です。

(左写真：園児と一緒に取り組んだアート作品 テーマ「虹」)

● 地域にも広がる対話型鑑賞



2024 年度はアート制作のみならず、アートを介したコミュニケーションの場づくりにも注力してきました。年度当初から毎月 2 回ホームでの対話型鑑賞会を開催し（全 16 回）、のべ約 150 名のご入居者様にご参加いただきました。高津区の地域の方々やあざみ野ギャラリー対話型鑑賞ボランティアの皆様にもご協力いただき、地域の方が定期的に集える交流の場が広がってきています。そういった単に皆で楽しくおしゃべりする場であっても、ご入居者様はいきいきとご自分を表現されます。会場でもご入居者様が参加する対話型鑑賞を実施いたします。

(左写真：ホームでの対話型鑑賞の様子)

新しい要素を取り入れ、前回より更にパワーアップした「ベネッセスタイルケアの紡ぐ美術展」。皆様のご来場を心よりお待ちしております。ベネッセスタイルケアは、これからもご入居者様お一人おひとりの「その方らしさに、深く寄りそう。」ことを大切に、QOL 向上につながるサービスをご提供してまいります。